

517

創立記念日でもある。

二月^{廿三}日(火)。

一捕虜学校の船として左の標と事実が漏れ付へられた。因に我が捕虜兵は全部~~海兵~~でゐって、ソロモン島と始のオスカ及びエドウェイ方面に於て捕はれの~~非~~連に陥つた人々であると言ふ。

捕虜

顛末概要

船の主人は Midway 海戦を航海者であつて、乗船空母艦の乗組員であるが、機関部員であり、戦闘中鉄板がとけ出し、機関部の天井から鉄火が頭上に落ちて来た。危険此の上である。腹で其の猛烈さが加はり倒れ船底におられ、側面を破り隣室から上甲板へ出ると、一名の戦友とこねふい。同いふ二大爆発と共に艦は沈没し始めた。一同はうつろひに死に移つたまま、十七日~~夜~~に飲まず喰はず漂流したつてゐたが、敵手に陥つた時は、皆人事不省の状態であつたと。従つて今日迄数回に亘り、生死の間に終始した者が数名あるが、遂に今度の武運したふとは父に収容の身になつてゐる。尚ほパールハーバー襲撃には日本艦隊は先艦一艦のやを捕隊とし、彼の海空奮戦を敢行して、全艦隊生還を期せし、決死的の大撃撃だつたのか、全艦隊無事帰還したので、豫期以上の戦果であつたと。又此記母艦も亦多くの奮戦を経たものだが、

518

之亦古い汽船と母艦に改造したものに過ぎず、
 中は母艦よりも密着機よりも、乗組員士の生存に
 大に関係ともし、彼等と悉く救助した。尚、前
 記機密新将士中の青年士官は、味方が何等の手
 段と知せば見捨て去つた事に対し、極度に憤慨し
 ながら、艦内通信機密が完全に破壊された
 結果、徹底せしめられたものと後程想像理解
 している。

Internes Campの監督が更迭され、新大
 佐が就任し、昨日午の桶内と巡視するのを見受けた。
 同胞レーンに挨拶し、おかしかな愛嬌を振りまいてね
 る。彼等は、彼の友人が多き日中に捕虜と率つてね
 から、日本人 Internes 諸君と共になんぞ云いと言
 々と傳へられる。此就任の気をも挨拶も無い。

今日復又他のエリアから若いインター連が、hehearing
 の出所した。南側の大農南50大工門先も并
 子息の夫人が病気の為、Temporary release
 とされ、カードに渡され出た。今迄の此の臨時釋放
 は種々の風説が起つてゐる。子息の妻が罹病
 の理由は種々不可解であり、右の名目にて、終局
 レースとされ農生産に任ぜしむる。條件で、
 現在の food shortage に対する一方便とするの
 であらうと観察するところがある。又一ヶ月前に
 国庫肉の許可を得た所にて、現一ヶ月の今日
 舞臺の移民局で、四洗に従事しつつある予実が

519

説明いたして、先に今地で華村司法者からの裁
断指令を待ってといふから、種々の説も流布し
ものあるが、右は蓋し man power の shortage をめぐり
争論から、正式の解放命令ある迄、移民局に就
働いたものと想像される。因に同地の移民局には婦
人連が今尚ほ収容されてゐる。

昨日、こちらの Coordinator (所謂 統務と称するもの)
の任期満了につき、改選投票が行はれるから、其々の
候補者を選挙あり度いと、各ハウスクに通知があつた。
誰れがやっても大同や異、だらうか、元令品贈与の決議
をいする輩は、この際情算すべきであらう。

二月廿四日(水)

オ
二
回
交
換
船

他の区域に在る一同胞が交換船に乗り、スペ
イン大使に問合せた回答中、今後一ヶ月もすれば出帆
期日が判明すると述べてゐる旨報道されてゐる。蓋し
該書信を認めたのは、十日位前の事であらうから、オ
二交換船は三月中出帆と観しても不可あらう。

先週おりの雑誌 Life に、Guadalcahal 島に
おける、米軍に領地の日死傷兵の寫真が二、三ペー
ジに渡り掲げられ、涙々くには見られず全身の血潮
沸くと思ひかた、然るに今週の同誌に讀者数人が
寫真を、斯う惨忍極悪なる寫真は、文明人の恥
辱だと同雑誌に對し抗議を申入れ、其の非人道的
態度と攻撃にゐるは興味深い。同誌の編輯に

日
中
死
傷
兵
寫
真